

島田市役所周辺整備基本構想検討委員会 第8回会議 議事概要

1 日時 平成30年7月9日（月） 午後6時15分～午後8時50分

2 場所 島田市役所本庁舎4階 第3委員会室

3 出席者

(1) 委員

海道委員長、森澤副委員長、荒井委員、石川委員、伊藤（治）委員、伊藤（歩）委員、杵塚委員、兒玉委員、佐久間委員、佐野委員、鈴木委員、中林委員

（13人中12人出席）

(2) 事務局

行政経営部資産活用課 鈴木課長、高木課長補佐、岩本係長、小柳津主事、福田書記

4 概要

(1) 開会

(2) 報告事項

次の点について事務局から報告した。

- ・職員アンケートの結果について

委員からの質問・意見は以下のとおり（○：質問・意見 →：事務局回答）

- 回答数606件とあるが、対象者は何人なのか。

→確定した対象者数は把握しかねるところがある。対象者は庁内LANに接続できる全職員であるが、例えば臨時職員だとその期間に働いているかどうかという問題がある。概ね1,000人の対象職員に対して6割の回答を得たことになる。

(3) 協議事項

次の点について協議した。

- ・意見書案のとりまとめについて

委員からの質問・意見は以下のとおり（○：質問・意見 →：事務局回答）

- 「はじめに」の部分で、委員会発足後にこういう調査を実施したということが書かれているが、それ以前に実施した「公共施設に関する市民アンケート」の調査等、近年実施された調査を加えるべきである。

- この委員会を通して検討したという感覚があまりない。議題にさわっただけで、意見を言いつ放しになってしまっているような感じがする。ここにきて、一気にまとめられている気がする。

- 「市役所周辺整備の方向性」において、市役所本庁舎と文化施設についてしか言及されていない。「市役所周辺整備基本構想検討委員会」であり、本庁舎や文化施設をとりまくエリアについての言及がないので、その項目は入れるべきではないか。

- 市役所本庁舎についての①方向性において「今後の市役所本庁舎整備基本計画において適切に配置・デザインすることにも十分に配慮すべきと考える」とあるが、この部分には、基本計画で具体的に何をコンセプトにして考えていくべきか、また市民アンケートや職員アンケートを配慮したということを要素として加えるべきである。※複数意見
- 職員アンケートの「これからの時代の庁舎のあり方について」において、「まちに賑わいをもたらすような機能が必要である」や「島田市のことを市外にPRするような機能が必要である」といった項目で多くの賛同を得ているが、これは市民と共通していて、市役所周辺に求められていることではないかと思うので、この内容も入れていくべきである。
- 今後、本庁舎については基本計画での検討に引き継がれ、文化施設については文化芸術推進計画へと引き継がれることになり、この委員会で2つのことを検討してきたことが今後分かれてしまうのなら意味のないものになってしまう。今後も一体として考えていくのであれば、「理念」が前面に来たほうが次の計画に伝わりやすい。
- 他市では抽象的な「理念」があって、その下に「方針」が何項目か並ぶスタイルが多い。
- これまで時間がない中で8回の議論を通して何がまとまって、次の基本計画に何をたないでいきたいのかを明確に示すべきではないか。
- 職員アンケートをみると、時代の変化に対応できる施設やものがテーマになっているが、時代の変化に対応するというのは建築的にはハードルが高い。そうすると、時代の変化に対応できるというよりも時代の変化に影響されないもの（環境など）を大切にしていこうという態度を示すような内容を盛り込んでいくのも良いと思う。
- 島田市は島田、金谷、川根とすべて橋で繋がっている地域だと思うので、地域をつなぐ「架け橋」という表現が理念に入っていると良いと思う。
- 「架け橋」という表現は、分かれているものを前提としての表現になる。意識として、3つの地域は既に一体となっているという前提に立てば、それを繋げるというよりは「広場」等の表現の方が理念としては良いと思う。
- 「賑わい」という表現は商業的なイメージがある。市役所周辺のエリアは行政運営と教育の文化振興が大きな柱になるのなら、そのようなことがイメージできる言葉が理念に入ると良い。
- 理念には10代、20代、30代の方が好むような言葉を入れると良いのではないか。
- 「人がつどい、文化がうまれ」という表現には、今までこの委員会で議論してきたことが反映されていると思う。
- 基本理念は「人がつどい、文化がうまれ、まちがつながるみんなの広場」とする。

(4) その他

萬屋副市長より挨拶

「当委員会の検討テーマは、老朽化した市役所本庁舎の機能更新、旧市民会館の機能再生、既存の類似施設の今後の方向性を一体で考えるという幅広く、様々な要素が絡み合った厳しい課題でありましたが、委員の皆様には意見の集約を図っていただき、委員各位のこれまでのご尽力に対して厚く御礼を申し上げます。」

(5) 閉会